



# かごしま 市民のひろば

2011年(平成23年)第**529**号

人とみどりが  
輝くまち  
かごしま



市の人口(推計)

平成23年5月1日現在(前月比)  
人口総数 606,745人 (+1,063)  
男 281,248人 (+ 408)  
女 325,497人 (+ 655)  
世帯数 268,840世帯(+1,531)



## 【目次】

- **市政総合**…………… 2～4
  - ・家庭向け節電対策に取り組みましょう
  - ・市職員募集
- **イベント・講座**…… 5～7
  - ・農業体験イン八重の棚田
  - ・夏の地域公民館、サンエール講座
- **特集**…………… 8・9
  - ・市まちと緑のハーモニープラン策定
- **暮らしのガイド**……10・11
  - ・東日本大震災復興緊急保証制度
  - ・地デジ相談コーナー
- **健康・福祉** ……12・13
  - ・介護保険制度
  - ・ワクチンの無料接種
- **すこやか鹿児島っ子**…14・15
  - ・ファミリー・サポート・センター会員募集
  - ・子育て・知っ得情報

市民のひろばは点字版・音声テープ版も発行しています  
配布を希望する人は広報課へ

■ホームページ(携帯版同じ)  
<http://www.city.kagoshima.lg.jp/>

バーコードリーダー付きの携帯電話で、右の二次元コードを読み取るとアクセスできます



■編集と発行  
鹿児島市広報課  
〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号  
TEL.099-224-1111(市役所代表)  
TEL.099-216-1133(広報課直通)  
FAX.099-216-1134  
Eメール  
kouhou5@city.kagoshima.lg.jp

■配布に関するお問い合わせ  
南日本リビング新聞社  
TEL.099-239-8124

## 静寂の中に、悠久の時を感じる

—旧島津氏玉里邸庭園—

玉里邸庭園は島津家第27代当主・<sup>なりおき</sup>齊興が天保6(1835)年に造営した南九州を代表する大名庭園で、平成19年には国の名勝に指定されました。庭園は隣接する鹿児島女子高校の生徒が毎日清掃し、茶室は茶道部が部活動で使用するなど、学校教育の中でも活用されています。

黒門をはじめ、茶室や鶴池、石灯籠など見どころの多い庭園を巡り、茶室からの景観を眺めながら、<sup>ゆうきゆう</sup>悠久の時を感じてみませんか。

## 市民とともに



鹿児島市長  
森博幸

「アットラシ」の心でエコな生活  
今月は環境月間です。私たちは日々の暮らしの中で水や電気など、いつでもあるのが当たり前の便利な生活を送っていますが、改めて環境にやさしい生活について考えてみたいものです。

本市では夏本番を前に、クールビズの取り組みが広がり、環境への意識が高まる中、ゴミの減量化や省エネルギー対策などに積極的に取り組む気運が高まっています。エコな生活の基本はモノを大切にすること。もったいないを意味する「アットラシ」という鹿児島の方言は、そのことを表現しています。今年の夏は「節電」が生活のキーワードになりそうです。市民一人ひとりが日常の生活を見つめ直し、環境に配慮した行動を起こすことが望まれます。この小さな行動が人から人へ伝わり、やがてコミュニケーション全体、まち全体へと広がって大きな効果を生むことにつながると 생각합니다。

市民の皆さん、今年の夏を心豊かに涼しく乗り越えるため、緑のカーテンづくりなど、「アットラシ」の心で身近にできるエコな生活の輪を広げ、環境にやさしいまちづくりを一緒に推進してまいります。

■映画「奇跡」と絆  
今月から九州新幹線を題材に市内でも口々に行われた映画「奇跡」が公開されます。両親の離婚で鹿児島と福岡で暮らす兄弟が、全線開業日の一番列車にまつわる奇跡のうわさを信じて、家族の絆を取り戻そうと頑張る姿を描いた物語です。先日、是枝裕和監督と一緒に市長室を訪れた主演の「まえだまへだ」の兄弟は、生き生きと映画への思いを語ってくれました。映画を通して全国に感動の輪が広がり、鹿児島の魅力も紹介されることを期待しています。ぜひ多くの方にご覧いただきたいです。

絆といえば、東日本大震災でのボランティアなどによる支援活動や被災された皆さんが共に助け合う姿に心を打たれ、改めて地域コミュニケーションの大切さを痛感しています。市民の皆さん、家族の絆、人や地域とのつながりについて見つめ直し、心が通い合い活力ある地域コミュニケーションづくりを一緒に推進してまいります。



(大切なものは保存しておきましょう)